

平成 2 3 年度
契約室予算要求方針

【目次】

- 1 平成 2 3 年度契約室予算要求総括表及び経営方針・・・・・・・・ 1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

1 平成 2 3 年度契約室予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成 2 3 年度契約室予算要求総括表

【一般会計】

平成 2 3 年度要求総額 5 7 , 2 5 7 千円
 (平成 2 2 年度予算額 6 1 , 4 6 4 千円)
 前年度比 ▲ 6 . 8 %

《主な事業》

(単位 : 千円)

事業名	平成 2 3 年度 予算要求額 A	平成 2 2 年度 予算額 B	増 減 A - B
登録業者の実態調査	36,058	35,329	729
契約管理事務	10,765	11,862	▲ 1,097
公共工事に係る暴力等相談事務	5,867	5,845	22
電子入札システム 開発運営	3,512	4,455	▲ 943
入札参加資格審査	653	1,878	▲ 1,225

(2) 平成 2 3 年度契約室経営方針

現下の厳しい経済情勢の中、「地元企業への優先発注」の方針を継続し、本市経済の振興と地元企業の育成に努めるとともに、公平性、透明性、競争性のある入札・契約制度の整備を一層進める。

また、公共工事等市の事務事業から暴力団等を排除する。

地元企業への優先発注

「北九州市緊急経済・雇用対策本部」の方針に基づき、「地元企業への優先発注」を引き続き推進する。

市の事務事業からの暴力団等の排除

「北九州市暴力団排除条例」に基づき、公共工事等市の事務事業から暴力団員又は暴力団若しくは、暴力団員と密接な関係を有する者を排除する。

不良不適格業者の排除

企業実態調査等を実施し、実体のない業者等不良不適格業者の排除に努めるとともに、入札・契約事務の適切な実施を確保する。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) 地元企業への優先発注

(概要)

本市経済の振興と地元企業の育成を図るため、「地元企業への優先発注」を推進するとともに、実体のない業者等不良不適格業者の排除に努める。

(2) 市の事務事業からの暴力団等の排除

(概要)

「北九州市暴力団排除条例」に基づき、公共工事等市の事務事業から暴力団等を排除する。